

# 確立期 建学の精神

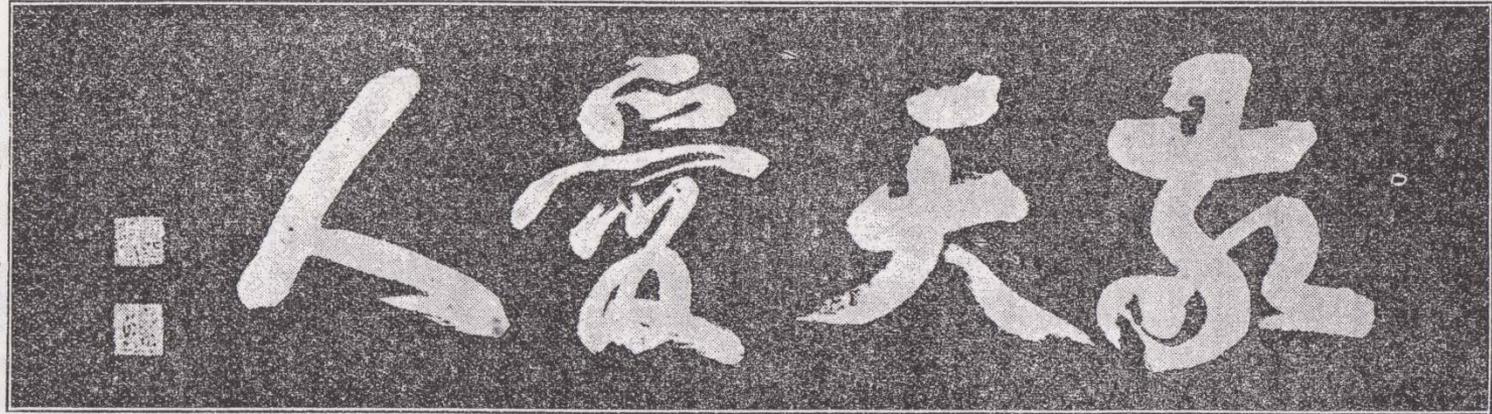


堂講念記士博ンウラブ

# 九州学院宗教部発行『敬天愛人』

大正十三年二月一日発行

敬天愛人第一號



九州學院宗教部

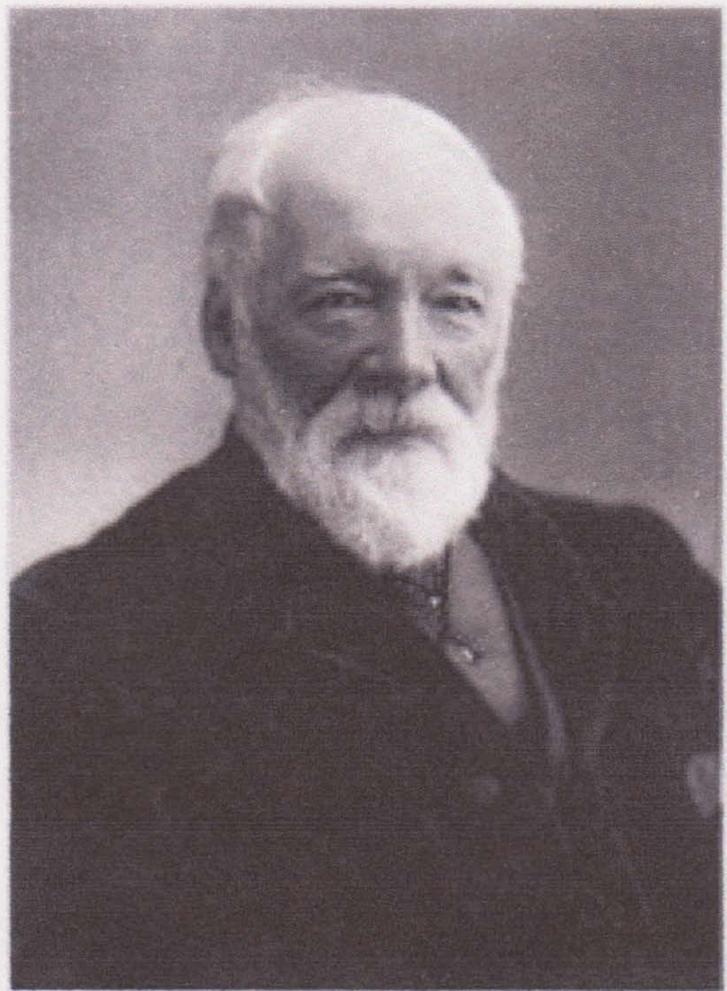
## 發刊に際して

わが九州學院が大江原頭に呱呱の第一聲を擧てより、歲月は流れて茲に十四年、今や内に六百の健兒を擁し、外に五百餘名の卒業生を控えて、教學の基礎漸く定まつたのである。去る者は日々に疎き世の習しも然る事乍ら、花開く晨には遠き風塵の都より故郷の櫻思ひ出で、懐郷の情をさるに學院を思ふ心もあるべく、月明の窓には乳離れし巢立して世の勤勞に赴きし教へ子に幸あれと祈る者なきにしも非ず、去りし者と残りし者との間に友愛の血が紅なるを見るのである。此血潮の脈搏が遂に顯はれて我『敬天愛人』は創刊さるゝに至つた。

我々は心からの告白として九州學院を一の家庭といはう而して教ふる者も教へらるゝ者も、將又教へられし者も皆等しく同胞であるを考へ様。『敬天愛人』は此基礎の上に創刊される故に、ひとへに友情親愛の機關である。我々は此『敬天愛人』に、瑰麗の文章、莊大の論議を期待しやうとは欲しない。眞情溢るゝ手紙を期待する。宣傳し主張する眞理の使徒よりも寧ろ共に語つて涙と笑を分つフレンドであれと希念する。

思へば國民受難の年は暮れて復活新興の曙は開かれた。若き我等の立てる所は明治維新以來嘗てなかりし程に、立ち甲斐あるの地點である。一物を持てる者は必ず爲す所あるべき、又爲す所あり得る地點である。然し新興は少數者の仕事ではない、國民全体の任務である。我々一人々々の責任である。猫も杓子も與るの覺悟あるべきであるが、いざ本當の任に當るといふ場合になると斷々乎として之ばかりは賈物でされてはならない事が分るのである。即ち敬天愛人の一義に其人格を基礎とし涵養して居る士のみ正に之をなす資格を有つ。獨り新興事業に於てのみならず、邦家は斯の如き人材を要する事今後は一層切なるべきを思はざるを得ない。我學院の院是の徹底の必要轉た急切なるを感じて、茲に宗教部は最大限の奉仕を致さん事を決心する。但し友遠方より來るさへも楽しい、況や友一齊に起つて戦ふに於ひては其愉快又とない。世にある諸君よ、院内に居る諸君よ、我々は『敬天愛人』なる我學院の標語を旗印として高い大きい志を振起して國家のため、全人類のために戦ひ吾人の尊き使命を果したいものだ。

# サムエル・スマイルズ と SELF-HELP(遠山先生蔵書)



*Samuel Smiles*

THE AUTHOR'S REVISED AND ENLARGED EDITION

## SELF-HELP;

WITH ILLUSTRATIONS OF  
CHARACTER, CONDUCT, AND PERSEVERANCE.

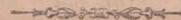
BY SAMUEL SMILES.

AUTHOR OF "THE LIFE OF GEORGE STEPHENSON AND OF HIS SON ROBERT  
STEPHENSON," THE "HUGUENOTS," ETC.

"This above all—To thine own self be true;  
And it must follow, as the night the day,  
Thou canst not then be false to any man."

SHAKESPEARE.

"Might I give counsel to any young man, I would say to him,  
try to frequent the company of your betters. In books and in life,  
that is the most wholesome society; learn to admire rightly; the  
great pleasure of life is that. Note what great men admired;  
they admired great things; narrow spirits admire basely, and wor-  
ship meanly."—W. M. THACKERAY.



REPRINTED

FROM

American Edition:

TOKYO

Z. P. MARUYA & COMPANY.

2557 (1897.)

文部省からの認定・指定を受け祝賀 1915(大正4)年



# 敬天寮の君子たち

東分寮に入寮した1年生を迎えて 1919(大正8)年4月





# L.S.G.ミラー

1930(昭和5)年6月20日

1924(大正13)年3月27日



寄宿舎東寮竣工 1924(大正13)年



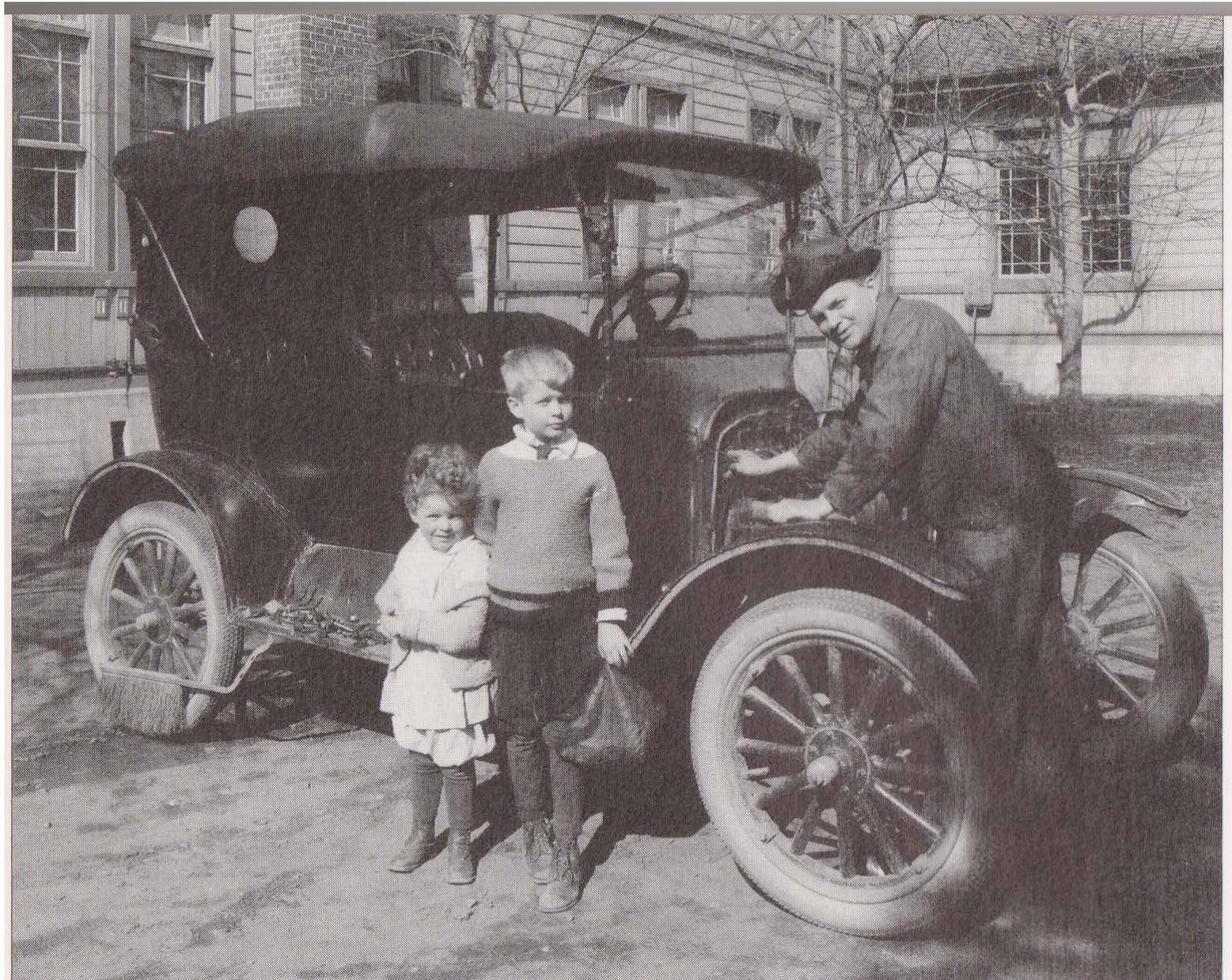
# 九州学院神学部学生と教授陣

1921(大正10)年



# 初代チャプレン:E.T.ホールン

ホールン牧師とフォード車 1921(大正10)年頃





# 九州学院教会週報

1928(昭和3)年6月3日(聖霊降臨日)

九州學院教會 牧師 稻富肇

週報 (第一二〇號)

昭和三年六月三日 (聖霊降臨日)

午前 十時

奏樂

讚美歌 一二六

祈禱

聖書  
ヘブライ書八章八一―一十一  
ヨハネ傳七章卅七―卅九

使徒信經

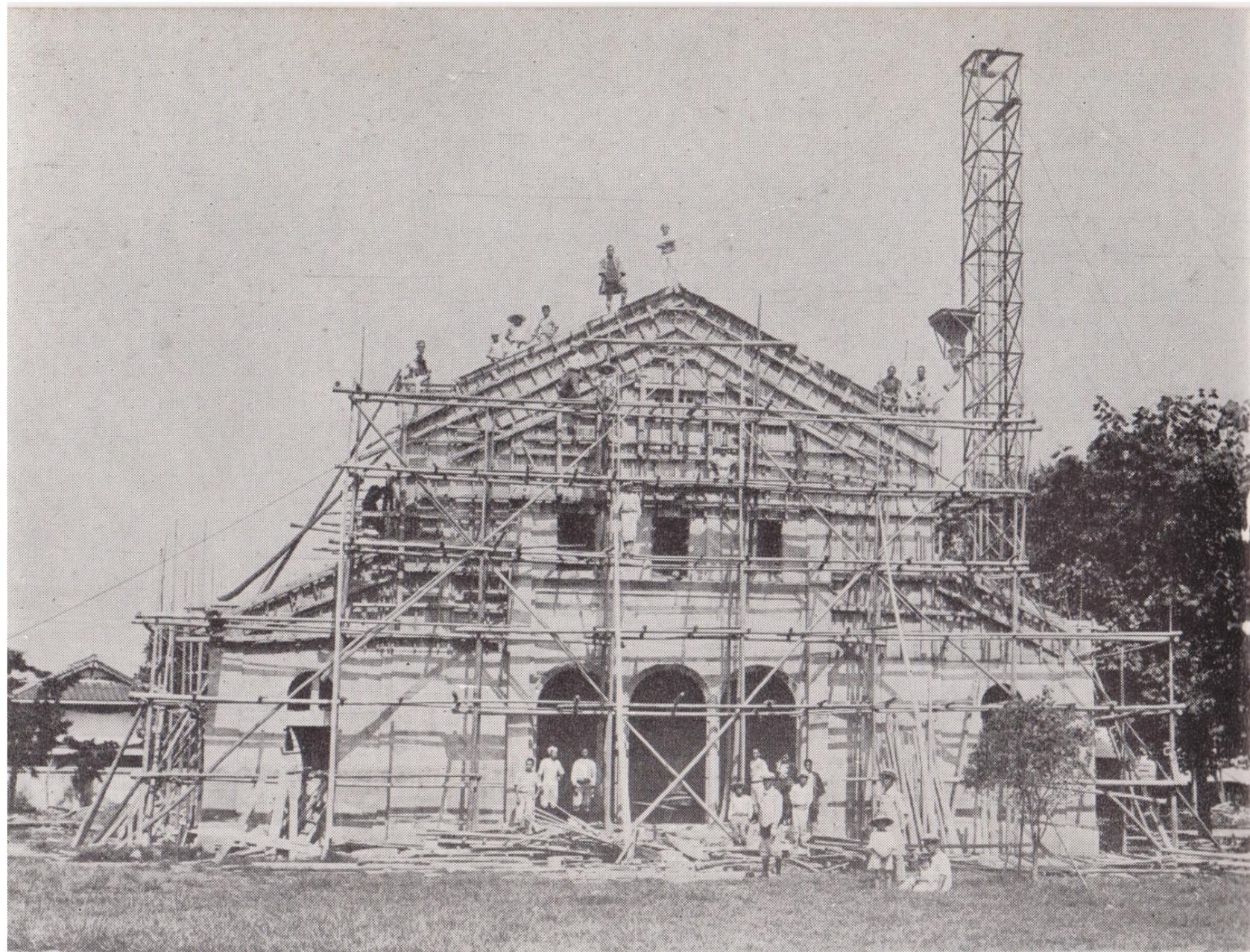
讚美歌 一七九

説教 「ルータールの自由觀」 稻富牧師

献金

讚美歌 四六二

建築中のブラウン記念礼拝堂 1925(大正14)年2月～



ブラウン記念礼拝堂の聖壇 1925(大正14)年10月30日献堂



遠山院長の『朝礼記録』

朝礼記録

大正拾四年拾壹月拾日起



九州学院野球団 1924(大正13)年結成(昭和5年のチーム)



# みどり幼稚園開園

1924(大正13)年12月  
グレイ宣教師館にて



# みどり幼稚園園舎新築後の卒園児

1930(昭和5)年3月 後列中央:遠山院長



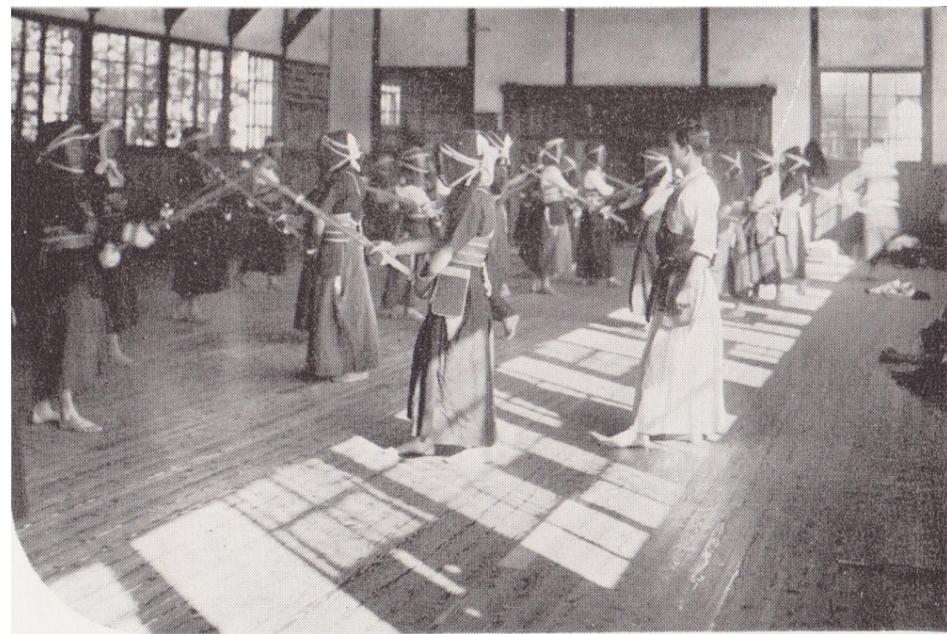
# 「九州学院校友会々則」を制定

1931(昭和6)年 校友会活動を開始

柔道部の練習



剣道部の練習

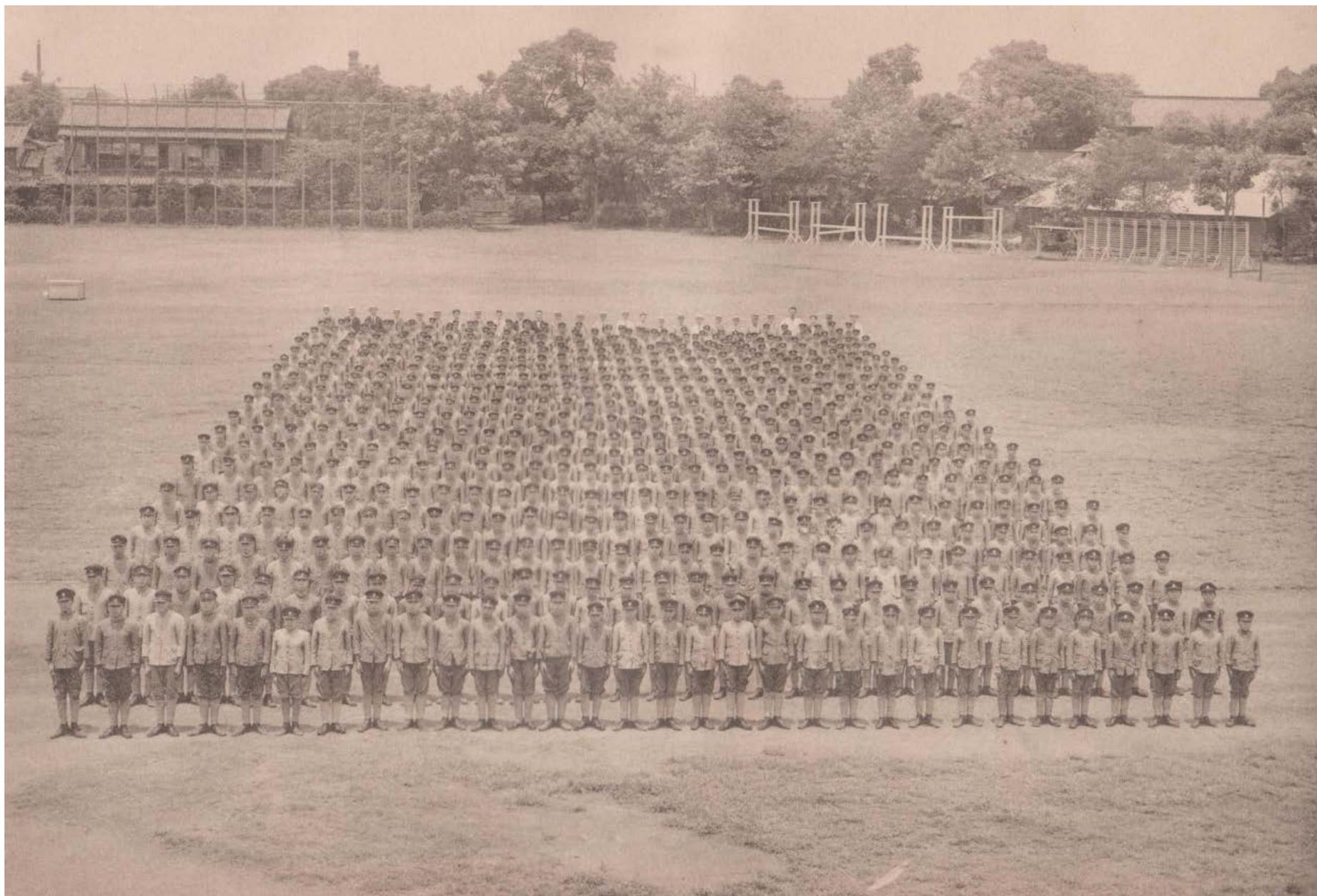


# 化学の授業

昭和初期



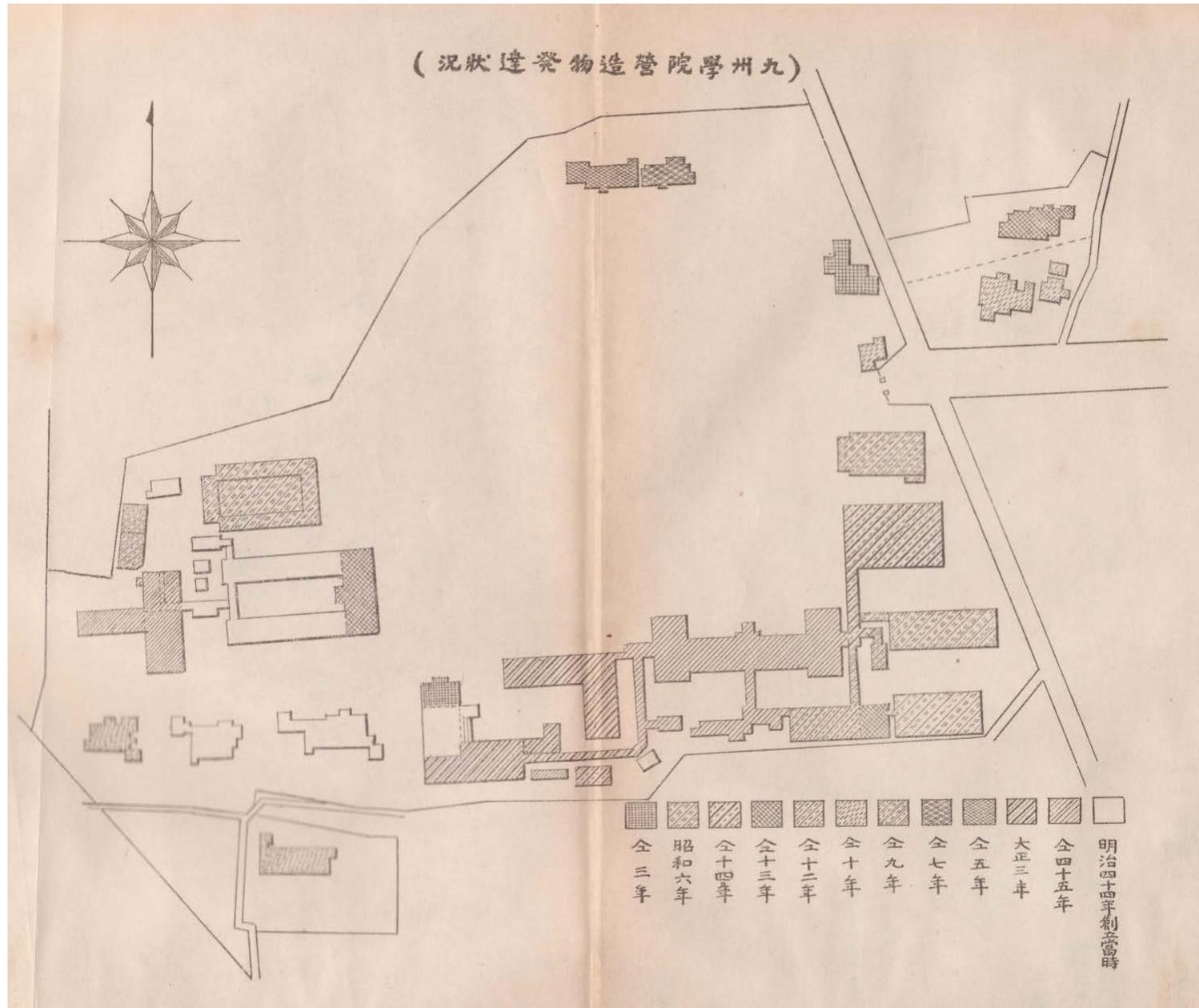
# 整列した全校生徒 1931(昭和6)年創立20周年時



# 創立20周年時の教職員



# 創立20周年までの学院施設建設経緯



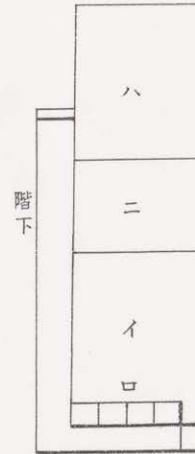
# 創立20周年記念建物説明

## 明説物建念記年周十二立創

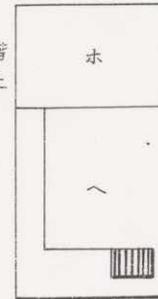
雨天體操場



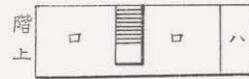
特別教室



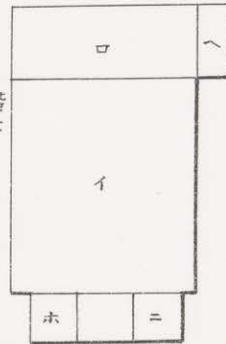
階上



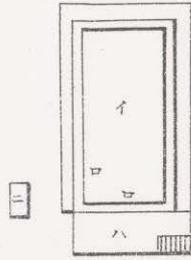
圖書館



階下



プール



### ○圖書館

(坪數 壹百拾坪)

イ、閱覽室

ロ、書庫

ハ、事務室

ニ、控室

ホ、下足室

ハ、附屬便所

經費 壹万八千七百五拾圓

### ○特別教室

(坪數 壹百七拾五坪五合)

イ、物理實驗室

ロ、暗室

ハ、物理講義室

ニ、機械準備室

ホ、會議室 (階上)

經費 壹万八千七百圓

### ○屋內體操場

(坪數 壹百貳拾九坪)

イ、體操場

(籠球設備)

ロ、シャワー室

ハ、附屬便所

ニ、脱衣所

ホ、物置

經費 壹万三千五百圓

### ○プール

(長二五米 巾一一米 五コース)

イ、水泳場

ロ、飛込臺

ハ、地下室 (シャワー)

ニ、附屬便所

經費 六千五百圓

各建物備品費 五千圓

右總經費 六萬二千四百五拾圓

# 図書館

図書館外観



生徒図書閲覧室



室覽閱書圖徒生



# 特別教室(科学棟)

特別教室外観



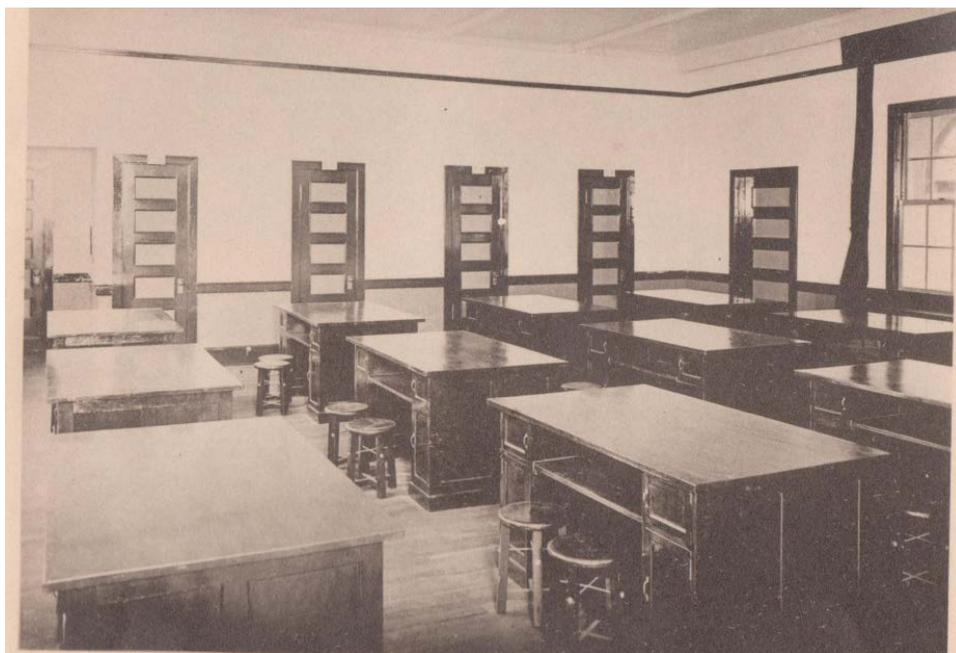
上階:会議室



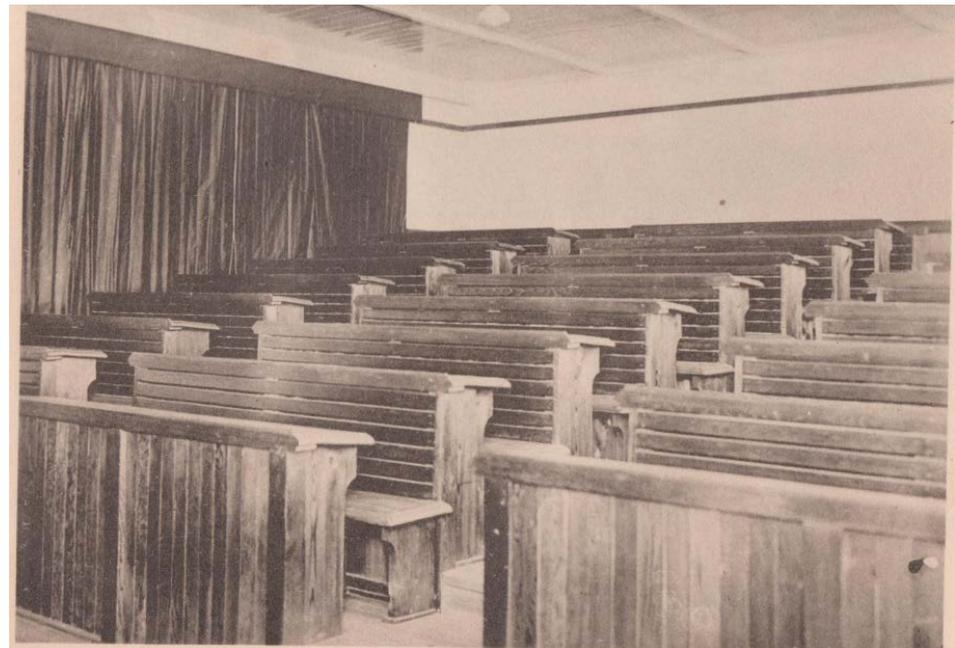


# 特別教室(科学棟)

物理實驗室



物理講義室

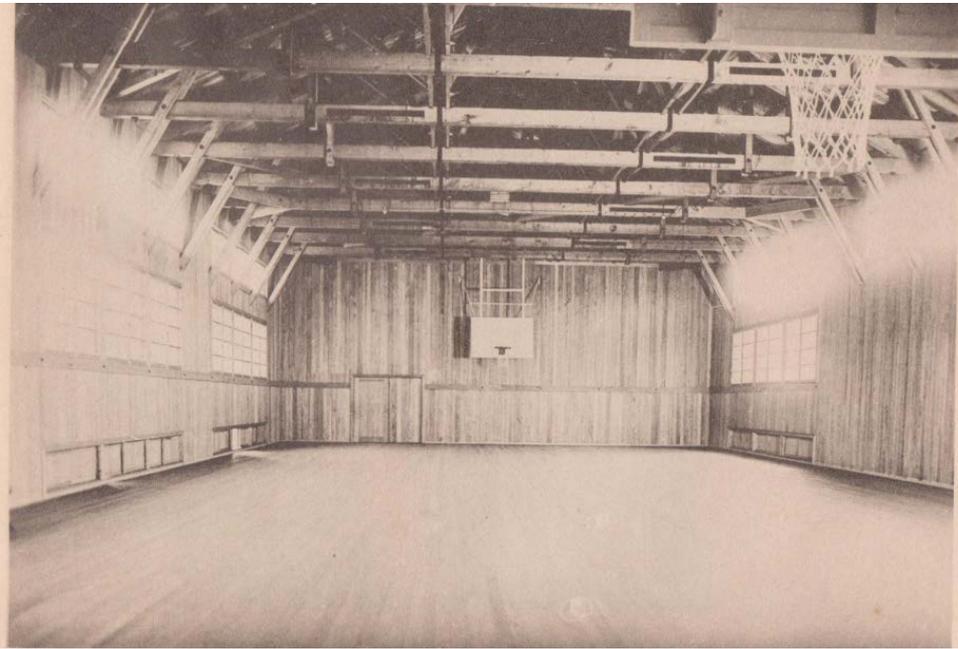
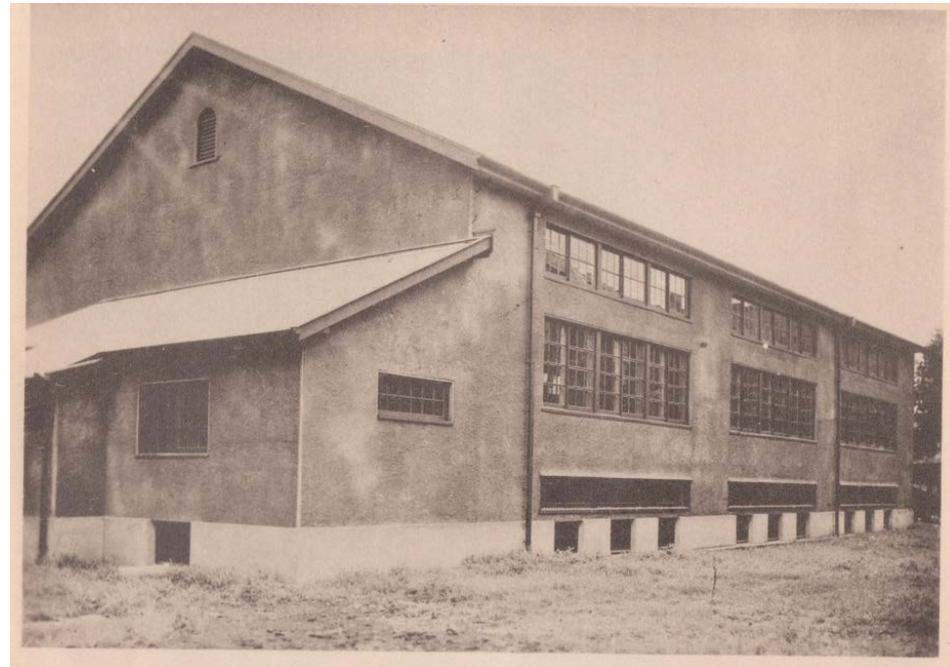




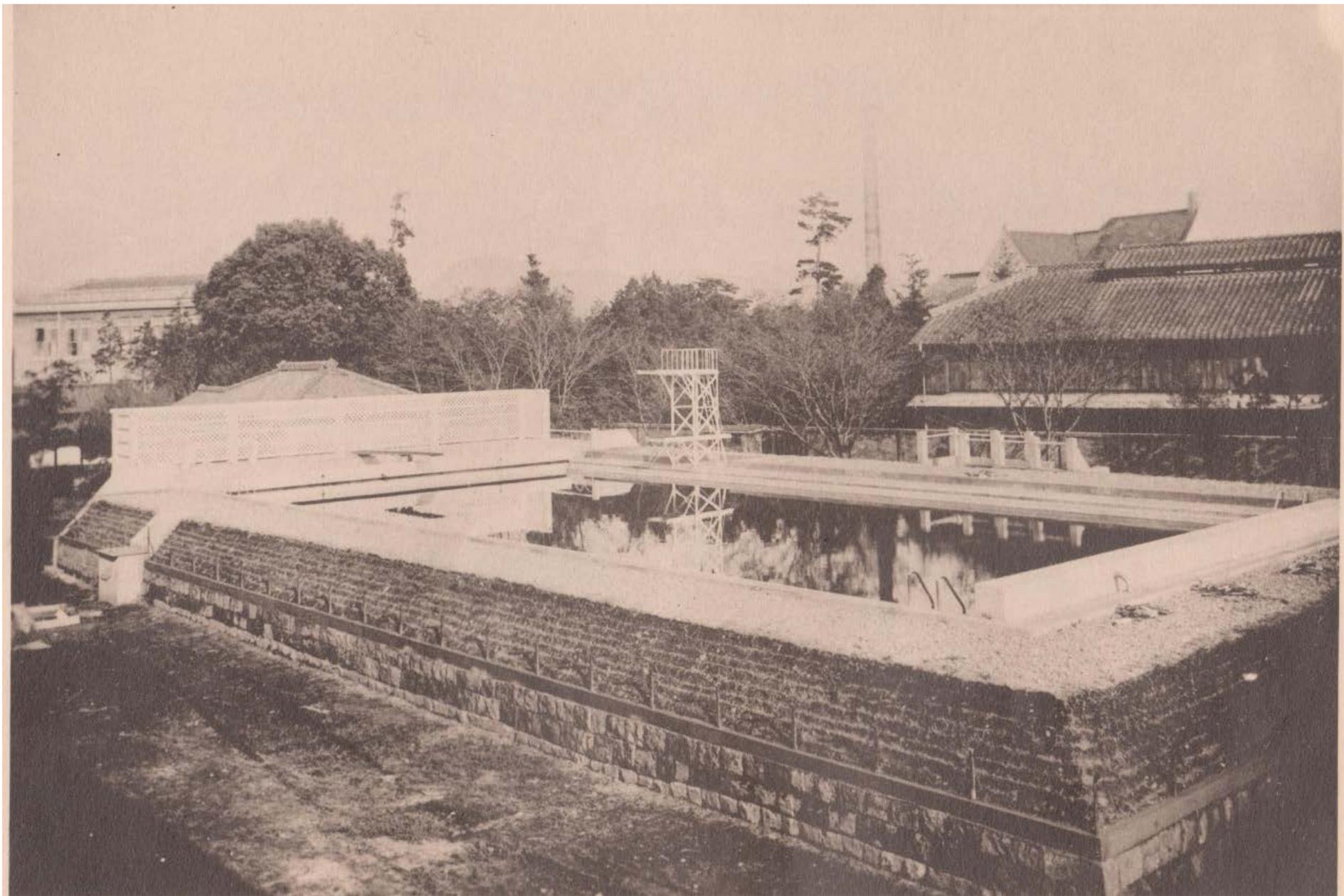
# 屋内体操場

屋内体操場外観

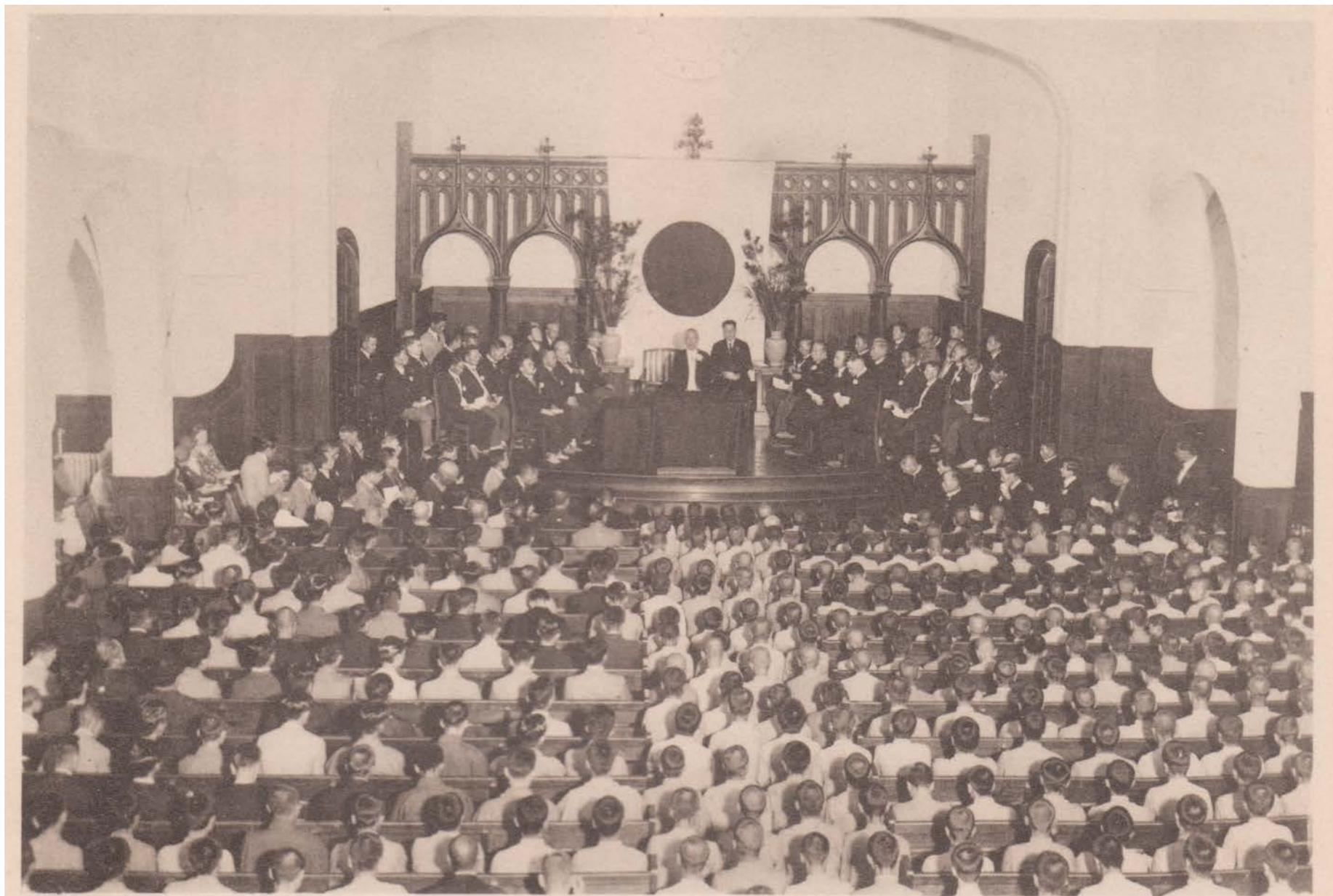
屋内体操場内部



# プール(飛び込み台付25メートル)



# 創立20周年記念祝賀会 1931(昭和6)年10月1日



# 『創立二十周年記念誌』と『大江—創立三十周年記念号』



九州学院 『創立二十周年記念誌』（1931年・昭和6）  
『大江—創立三十周年記念号』（1942年・昭和17）

# 昭和初期の九州学院キャンパス

